

所沢市立上山口中学校

## 環境目標：自然と共存する上山口中学校

### ～地域と連携した環境作り～

#### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

- ・生徒会環境委員会の生徒によるエアコン管理（教師の主導のもと、授業による教室移動の際の「エアコン切」チェック活動）
- ・黒く塗ったペットボトルを窓際に置き、温水を作り清掃活動に生かす。

#### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・直接エアコンの「切」操作を生徒にも管理させることで、直感的に温暖化防止に貢献しているという意識を醸成している。
- ・温かくなることを体感することで、太陽光エネルギーが与える影響の大きさや、エネルギーを節約できることが実感でき、自宅でも試してみようとする意欲の醸成につながっている。

#### <主な教育効果：>

#### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

・環境委員会が書いた節水、節電のポスター流しやトイレに掲示していることで、節水、節電の意識が高まった。

・理科の授業で白熱電球とLEDの電気料金を計算し、地球に優しいエネルギーの使い方を学習した。

#### 2 《みどり・生物多様性》

・環境委員会を中心に花壇、プランターの整備を行い、草花を育てることで、緑に囲まれた立地とともに、心豊かな学校生活ができる環境を創り上げている。

・地域の方と協力して月に一度、緑道と、柳瀬川の清掃を行い、緑豊かな環境と、ミヤコタナゴを放流できる河川環境作りを目指した活動ができた。また、市内中学校では唯一の活動である科学部によるミヤコタナゴの飼育活動も生物の多様性の観

点から、教育効果の高い活動となっている。

・環境委員会、特別支援学級、技術家庭科、地域ボランティアの方が協力して、上中ファームで野菜を栽培し、土にふれあう活動ができた。ジャガイモ、サツマイモなどの栽培を通し、理科で学ぶ光合成をして、デンプンができることを実践できた。収穫した野菜は、保護者会などで販売するとともに、地域行事のために提供した。



#### 3 《資源循環》

・理科の授業の天気単元において、水が循環していることを理解するとともに、水源が限られたものであることを学ぶことを通して、実生活の中でも、水を大切にする気持ちを醸成できるよう、実生活とのつながりを意識した授業を展開している。